

湘南にのみや 議会だより

(写真)「岩盤型潜水突堤」(大磯町との境界付近)
(令和6年6月撮影)

砂浜再生のための国による総事業費320億円の西湘海岸保全施設整備事業。計6基の突堤を令和23年度までに設置予定。

9月定例会 (9/2～9/26)

- ◆ 令和5年度一般会計・特別会計等決算 … 2～3
- ◆ 3議員が決算総括質疑、議員提出議案 … 4～5
- ◆ 人事、一般会計補正予算、条例、契約 … 6
- ◆ 陳情、賛否一覧 … 7
- ◆ 8議員が一般質問 … 8～11
- ◆ 委員会活動報告 … 12



議会のHPはこちら

決算

令和5年度

一般会計歳入 103億8,893万円
一般会計歳出 98億1,058万円

令和5年度の各種施策(事業)実施ポイント

注) 当初予算時の項目名と金額、千円以下四捨五入

- ①公共施設の利便性、機能性を高めるまちづくり** 2億3,382万円
地域づくりの拠点となる地域集会施設について、百合が丘老人憩の家改築工事、(仮称)富士見が丘公会堂敷地整備、入川匂老人憩の家及び下町老人憩の家改修工事。
- ②子どもの笑顔がかがやく、子育てと教育のまちづくり** 9,304万円
幼稚園及び保育所に心理士等の派遣を行い保護者等に対する育児支援、紙おむつの処分に係る補助として町指定家庭用ごみ袋の配布、児童生徒が抱える教育課題に未然防止・早期発見・早期対応するため、全ての小学校へスクールカウンセラーが常駐する体制を整えた。その他、山西小学校南棟校舎外壁等大規模改修工事。
- ③気候変動に対応した安全・安心なまちづくり** 2億3,820万円
町民の気候変動に対する機運の高まりを受けて、「千年続く循環するまちづくり」を目指し、町民と共に「二宮町気候非常事態宣言」を発出した。
一級町道10号線(二宮小学校下)について、雨水排水施設整備に伴う実施設計に着手。
第3分団消防ポンプ自動車更新。
- ④誰もが自分らしく暮らせるまちづくり** 1,805万円
介護や子育て、生活困窮などの複合的な情報を一元管理し、町関連部署を越えて情報管理ができる福祉相談支援システムを導入。高齢化の進展を見据え、新たな交通施策を検討するための「二宮町地域公共交通計画」を策定。
- ⑤活力がみなぎり、選ばれるまちづくり** 2,268万円
「湘南オリーブオイル」が地域ブランドとしての地域団体商標を取得したほか、観光協会の法人化に向けて支援。有害鳥獣被害対策の推進。
- ⑥新しい時代に向けて、しなやかに対応するまちづくり** 599万円
自治体DXの推進を図るため、各種申請や届出などの行政手続きのほか、がん検診予約などのオンライン化の拡充やデジタル人材の育成を進めるため、神奈川県との職員交流や職員研修を実施。くらしの便利帳の発行など。

昨年度との比較(歳出)

区分	令和5年度	令和4年度	前年比	採決結果
○一般会計	98億1,058万円	95億8,001万円	102%	賛成9 反対4
○3特別会計				
国民健康保険	28億6,191万円	28億7,852万円	99%	賛成13 反対0
後期高齢者医療	9億8,472万円	9億1,277万円	109%	賛成12 反対1
介護保険	28億3,611万円	27億8,506万円	102%	賛成13 反対0
歳出決算合計	164億9,332万円	161億4,486万円	102%	
○下水道事業会計				
収益的支出	7億2,198万円	令和5年度から公営企業会計へ移行したため、前年度との比較できず		賛成13 反対0
資本的支出	6億4,537万円			

賛成9 反対4 賛成多数で認定

3 特別会計、下水道事業会計も認定

審査意見

- ①住民の避難や備えに資するため、被災リスクと災害発生状況は、的確な情報伝達を速やかに行われたい。
- ②新庁舎整備は、自然環境の幅広い機能を活用した社会資本整備（グリーンインフラ）を視野に入れ、防災・減災を進められたい。
- ③気候変動対策について、行動変容を促す取り組みを進められたい。
- ④民生委員・児童委員や保護司については、負担軽減に繋がる取り組みを行うなど、担い手確保に努められたい。
- ⑤放課後子ども教室は、児童のニーズを把握し、拡充を図られたい。

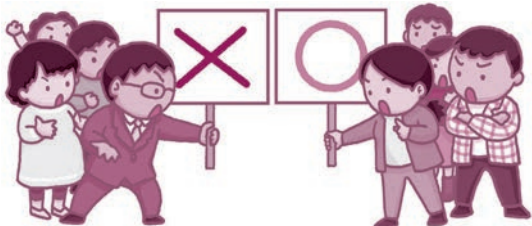
- ⑥各種計画の立案・実行において、産官学連携・住民との協働を進められたい。
- ⑦吾妻山公園借地料については、明確な算出根拠を示し、適正化を図られたい。
- ⑧生成AIについて、各課共通のガイドラインを策定し、早期に導入されたい。



決算審査特別委員会最終日

課長以上の職員が出席する前で
討論・表決が行われた

討 論

賛 成	反 対
先の見えなかったコロナ禍を乗り越え、子育て世帯への生活支援、物価高騰対応支援のほか、地域集会施設や学校施設の改修整備など、町民の命と暮らしを守るための事業が、着実に実施されたことを評価。（岡田）	小中一貫教育校の設置を町民の合意形成なしに進めた、学校給食の無償化・小児医療費助成を高校卒業までの拡充を先送り、環境問題の取り組みを啓発に留めたことは問題。教育の相談支援や福祉支援の強化、新庁舎整備の前進等は評価。（渡辺）
令和4年度の行政評価において、町は200以上の事業を評価し、16事業に要改善と評価した。要改善となった事業に対し、決算委員会で質疑したが、いずれも真摯に向き合い改善策を検討し、令和5年度で実践していた。（古谷）	台風10号による葛川溢水は、ラディアン周辺に行政機能を集中させようとする計画の変更を迫るもの。洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域に隣接した場所への防災の拠点となる新庁舎建設を前提とした令和5年度決算の認定は出来ない。（松崎）
	公共施設35%削減を猶予する変更は適正と聞いたが改訂前の委員会で合意を得る会議録が見あたらず「ラディアン周辺行政機能等集約基本設計」は不正事業である。82億円もかけたら施設一体型の小中一貫校計画を頓挫させる可能性があり危険。（大沼）

決算総括質疑



無所属

一石 洋子

グリーンインフラ・郷的な循環と協働推進を！

Q 新庁舎、ラディアン改修に社会資源を集めるまちづくり会社のしくみが必要。未来に向けたレジリエンス、気候非常事態宣言や子どもの権利のビジョン、食糧施策、子どもの自然遊びや学び、健康長寿、インクルーシブなどの姿勢がランドスケープに活かされるべき。

A 千年に一度の被害想定を受けて建設地変更、各施設の回遊性、複合的な相乗効果、観光協会法人化によるまちづくり公社的な展開に期待。ラディアン周辺を町のリビング、ダイニングとしてどう使いこなすかはこれから。町民力、子どもの視点の今後の動きや提案もあるはず。

Q 全町的な崩落、浸水の課題の現状と対策にグリーンインフラによる治山治水が必要。

A 洪水対策は県に再度要望した。民間造成工事後の緑地の管理を徹底。国が推進するグリーンインフラや県、NPO等と協働して維持管理施策、内水浸水区域調査等を進める。

Q 産婦ケア、早期発達支援、不登校児童生徒に係る課題も先進的なアプローチが国内で進む中、学校、部活動、母子・発達支援でプロボノ他協働企画や国立小児病院跡地を活かすなどチャレンジが必要な局面だ。

A にのみや学園の交流授業は感動的な成果が見られた。ご提案をいただきながら新庁舎において親子がフル活用できる場を設けていく。

Q コロナワクチン施策の総括の時、子どもたちの副反応の情報が採れていない等、国会で論議があった。今後の未検証のレプリコンワクチンのリスクコミュニケーションも必須。

A 医療機関も町も30日を超える副反応も対応。信頼できる知見はHPにリンクを貼る。



二宮独自の協働は未来に向けて気候市民会議と共に注目される



無所属

岡田 幸次郎

努力は活かされている
経常経費をしっかり確保

Q 山西プールの機能・魅力向上について検討結果と今後の展開を問う。

A 山西プールは公共施設再配置計画にて長寿命化にむけた大規模改修をする施設として位置づけており利用実態の把握、利用者の声も聞きながら修繕、維持管理に努め、引き続き大規模改修に向けた検討を進める。

Q 青少年指導員、スポーツ推進委員は地域に重点を置いた活動で青少年と顔が見える関係づくりが大切だと思うが考えを問う。

A 災害時を含め地域内で顔が見える関係づくりは大切であり、今後の委員の選出方法や各委員の設置目的に沿った取り組みなど各委員と共に検討を進めていく。

Q イノシシの市街地被害軽減策として防護柵設置等の補助金制度の導入検討を問う。

A 町では農地に対して広域柵、一定の補助をしているが、市街地には、そうした支援を設けていない。補助金制度の導入検討は、今後、被害の状況なども調査しながらということになると思う。

Q SNSを活用した情報発信体制（ICT）の進捗と結果を問う。

A 今年10月に町の公式LINEを開設予定。来年1月から町内小中学校の欠席連絡もLINEからできるように機能を追加していく。今後も活用の幅を広げ町民サービスの向上に繋げLINEの導入効果を高めていく。

Q 個別避難計画の進捗と成果検証を問う。

A 台風10号の大雨で最初の避難者は、昨年に個別避難計画を作成した方で、対象者と支援者に計画の意義が伝わったと実感した。今後も避難困難者の計画作成を進める。



地区のイノシシ被害対策部会で活動を開始、罾の設置場所を調査



無所属

小笠原 陶子

記録的猛暑での子育て支援 事業再構築し対策を

Q 今年の夏は暑すぎて子どもが家から出られない。日本も町も核家族化が進み母子家庭も増え、ワンオペ育児で苦難な中、追い打ちをかける尋常ではない暑さ。今こそ子育ての社会化を更にもう一步進めたい。

保育人材確保の促進の進捗だが、質の良い保育士の確保は重要。

A 保育士就労支援給付金を開始。令和5年度は、就職1年目の方4名に各12万円、就職2年目の方7名に各6万円を給付。継続した雇用を促進している。

Q 山西プールは水温が高く風呂のようだし老朽化が進む。当面の対策と将来、地球温暖化を見据えた対策は。秦野市は二宮町の子でも、屋外プールは無料。町も子どもの健康のため、1回でも2回でも多く利用するよう、子ども利用料金を無料にできないか。

A 水温は注水するが温度超えには休憩時間を増やし対応。また、現在のところ山西プール入場料の見直し予定はない。将来的に大規模改修をする予定である。その時に入場料は、他市町の事例も含めて研究する。

Q 子育てサロンの利用は猛暑日に有効だ。でも小学生は利用禁止。小学生の兄弟がいる子は、子育てサロンを利用できない。

A 小学校低学年の兄弟が未就学児と一緒に入れる運用を、未就学児の安全を第一に検討する。

Q 放課後子ども教室は特に夏休みにニーズが高い。ラディアンでも実施されたが、クールシェアリングとして大切。回数を増やせないか。

A 運営組織に要望を伝え、できる範囲の中で増やしていく。サポーター希望者募集中。



猛暑の中での子育て支援事業は全て見直し、全力で対策を打て

議員提出議案

葛川氾濫対策早くせよ

議会は今般の葛川氾濫を受けて、県に対し以下の緊急意見書を提出！

議員提出議案第3号 全会一致で可決

葛川水系河川整備の早期実現を求める 緊急意見書

令和6年8月30日、台風10号に伴う豪雨による斜面の崩落や、住宅や商店の浸水と泥の流入などの被害が、二宮町の各所でおこった。多くの家屋が床上・床下浸水の被害を受けた。

当議会は、令和2年1月に「葛川水系河川整備計画の早期実現を求める意見書」を県に提出しており、残念ながら洪水対策が間に合わないまま、今回の豪雨を迎えた状況である。治水対策の重要性と緊急性はさらに増したと捉えるべきである。よって、二宮町議会は、下記の事項について強く求める。

記

大雨時における住民、住宅、町施設、横浜地方方法務局西湘二宮支局、県道71号線を含む基幹道路などの安全確保、そして、今般のような氾濫を繰り返さないために、洪水浸水想定区域図において、浸水の危険性が高い塩海橋付近から生涯学習センター（ラディアン）付近までの葛川水系の整備を即時着工すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年9月10日

提出先

神奈川県知事 黒岩 祐治 殿

神奈川県中郡二宮町議会議長 根岸ゆき子

(原文より抜粋)



本年8月30日、葛川氾濫時のラディアン付近の様子



正副議長が橋本副知事へ手渡す

人事

●副町長の選任 (議案第43号)

わたなべ つねふみ
渡邊 恒文 (62歳) 緑が丘在住
筑波大学大学院理工学研究科、米国
ジョージ・ワシントン大学大学院プロ
ジェクトマネジメント、各修士課程修了。
日本アイ・ビー・エム株式会社等の民
間企業、NEDOに勤務。二宮町消防団第5分団員・
同分団長・消防団長、一色小・二宮中・大磯高PTA
会長等歴任。任期は4年。賛成多数で同意 (11:2)



●教育委員会委員の任命について (議案第42号)

みよし ゆうた
三好 祐太 (38歳) 富士見が丘在住
二宮中学校PTA・中郡PTA連絡協議会・二宮町
PTA連絡協議会、各会長。神奈川県PTA連絡協議
会理事。二宮町商工会理事・青年部副部長。
任期は4年。

全会一致で同意

補正予算

※千円単位四捨五入

<令和6年度>

●一般会計補正予算 (第2号) (議案第48号)

歳入歳出予算にそれぞれ3億5,685万円を追加
歳入・歳出総額 101億2,735万円

主な歳入

・地方特例交付金	1億2,692万円
・前年度繰越金	1億7,550万円
・高齢者新型コロナウイルス予防接種 助成金	5,094万円

主な歳出

・財政調整基金積立金	2億775万円
・高齢者新型コロナウイルス予防接種 委託料	9,143万円
・自立支援給付事業	1,514万円
・子ども・子育て支援給付経費	1,291万円

賛成多数で可決 (11:1)

●一般会計補正予算 (第3号) (議案第57号)

歳入歳出予算にそれぞれ5,777万円を追加
歳入・歳出総額 101億8,512万円

歳入

・災害対策基金繰入金	5,000万円
・災害救助法適用救助費負担金	277万円
・財政調整基金繰入金	500万円

主な歳出

・修繕料 (被災住宅対応)	246万円
・町道修繕工事	980万円
・吾妻山公園復旧工事	616万円
・汚泥処分委託料	370万円
・側溝等清掃委託料	231万円
・農道等修繕工事	224万円
・元町老人憩の家防水工事	298万円
・職員手当	134万円
・緑が丘堰堤浚渫委託料	550万円
・予備費	1,877万円

賛成多数で可決 (11:2)

条例改正

●携帯電話基地局の設置等に係る紛争の予防と調整 に関する条例制定 (議案第44号)

令和5年第2回議会定例会における陳情採択を受
け、事業者に対する設置計画書の提出、近隣住民へ
の事前説明を行う等、配慮すべき事項、手続き等を
定める。設置の許可または工事の停止を求められる
条例ではない。

令和7年5月31日以降の工事着手分より適用。
全会一致で可決

●地域集会施設条例の一部改正 (議案第45号)

各地区の集会施設を運用実態に即した名称に統一
するもの。名称は「地域名+会館 (例: 上町児童館
⇒上町会館)」とし、銘板は町から支給されるが地区
で作成も可能。

令和7年4月1日より一斉に改変するが、富士見
が丘老人憩の家については、住所とともに令和6年
10月1日に変更となる。

全会一致で可決

契約

●消防庁舎大規模改修に伴う備品 (一般事務用品) 購入 (議案第47号)

上記購入に設置作業を含め、契約金額1,353万円。

契約先
株式会社シマソービ (横浜市)
全会一致で可決



陳情

●国に対し現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書提出の陳情 (陳情第7号)

陳情者：ユーコープ労働組合代表 積 哲也

●現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書を国に提出することを求める陳情 (陳情第9号)

陳情者：神奈川県保険医協会理事長 田辺 由紀夫
【陳情要旨】(7号・9号)

国に対し、本年12月2日実施予定の健康保険証廃止を中止し、現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書を提出すること。

7号・9号とも賛成少数で不採択 (2：11)

●氏姓の選択可能な婚姻制度の法制化を求める意見書を、国に提出する事を要望する陳情 (陳情第8号)

陳情者：匿名希望

【陳情理由】

政府は旧姓の通称使用拡大を進めているが、個人認証が厳格化する中で混乱を招いている。男女が共に活躍できる社会実現のために標記要望。

賛成多数で採択 (10：3) 国に意見書を送付

●ラディアン周辺行政機能等集約事業を防災上から最優先とする検証を求める陳情 (陳情第10号)

陳情者：まちづくり工房「しお風」代表 神保 智子
【陳情項目】

1. 将来を見通した町の持続可能なための災害対策費の捻出財源の明確化
2. 町が考える新庁舎を拠点とした発災時の町全体の防災体制とそのための日頃からの地域防災との連携体制、特に一住民の立場からの流れ
3. 新庁舎建設を含むラディアン周辺行政機能等集約事業と減災対策費との費用対効果の比較

賛成少数で不採択 (6：7)

●議員による職員への政党機関紙の庁舎内勧誘行為の中止を求める陳情書 (陳情第11号)

陳情者：ハラスメントから職員を守る神奈川県民の会 代表 出井 健三郎

【陳情項目】(要約)

1. 議員による職員への政党機関紙勧誘行為はハラスメントの可能性が高く、原則中止。
2. 勧誘行為を希望する場合は、許可を必ず取得。
3. 勧誘行為可否判断に際し、職員の声を聴く。

賛成少数で不採択 (3：10)

各議員の議案・陳情に対する 賛成・反対は？

	羽根かほる	小林 幸子	岡田幸次郎	一石 洋子	渡辺 訓任	小笠原陶子	松崎 健	浜井 直彦	前田憲一郎	古谷 健司	善波 宣雄	大沼 英樹	野地 洋正	根岸ゆき子	結果
議員提出議案名 (左は議案番号)															
3 葛川水系河川整備の早期実現を求める緊急意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	可決
陳情 名 (左は陳情番号)															
7 現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書提出の陳情審査について	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
8 氏姓の選択可能な婚姻制度の法制化を求める意見書を、国に提出する事を要望する陳情審査について	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	採択
9 現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書を国に提出することを求める陳情審査について	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
10 ラディアン周辺行政機能等集約事業を防災上から最優先とする検証を求める陳情審査について	●	●	○	●	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	不採択
11 議員による職員への政党機関紙の庁舎内勧誘行為の中止を求める陳情審査について	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	●	○	不採択
町長提出議案名 (左は議案番号)															
42 教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	同意
43 副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	同意
44 二宮町携帯電話基地局の設置等に係る紛争の予防と調整に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	可決
45 二宮町地域集会所施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	可決
46 二宮町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	●	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	可決
47 消防庁舎大規模改修に伴う備品 (一般事務用品) の購入物品供給契約について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	可決
48 令和6年度二宮町一般会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	可決
49 令和6年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	可決
50 令和6年度二宮町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	可決
51 令和6年度二宮町介護保険特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	可決
52 令和5年度二宮町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	認定
53 令和5年度二宮町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
54 令和5年度二宮町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
55 令和5年度二宮町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
56 令和5年度二宮町下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
57 令和6年度二宮町一般会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決

※議案等に対して、○は賛成、●は反対を意味しています。(欠は欠席)

※議長は採決に加わりません。

一般質問



無所属
前田憲一郎

問 子どもたちを真ん中にした
学校教育が行われているのか

答 子どもたちを第一とした
学校教育を推進している

Q にのみや学園9年間の教育を見通した教科担任制について検討され、適格な導入がなされているか。

A 二宮町の各小学校において、神奈川県からの加配教員を活用した外国語、理科、算数等の特定教科の専科指導や学級担任間の授業交換などを行い、すべての教科ではないが、各小学校の実情や学年に応じて教科担任制を導入している。

Q 施設一体型小中一貫教育校の開校予定は。

A 二宮町施設一体型小中一貫教育校設置研究会から示される提言書や課題を踏まえて検証していく。

Q 学校施設の長寿命化のための大規模改修に関する考えは。

A 優先順位を整理して、令和3年度より、各学校の修繕工事や大規模改修工事を進めている。

Q 部活動の地域移行へ向けての進捗状況は。

A 外部指導者が指導している部活動について土日祝日の活動は顧問を置かず、指導を行う日を設け試行した。文化部についても検証を行う予定。

【要望】「言うは易く行うは難し」という言葉があるように申し述べることはたやすいことだが、それを実際に行うとなると大変難しく困難なことが多いと思うが、子どもたちを真ん中に置き、子どもたちの為に何をすることが最善の策であるのか。よくお考えの上、子どもたちを真ん中にした学校教育を推進していただきたい。



建物健全度点数の低い
二宮小学校体育館



無所属
羽根かほる

問 ラディアン周辺行政機能等集約計画
及び今後の財政見通しについて

答 計画実施で、災害対策本部を常設し、
町民サービスは低下させない

Q 安全面や災害対策のために新庁舎が必須とのことだが、災害対策本部の機能は高まるのか。

A 災害対策本部を常設できる。専用のモニターやPC機器等を災対本部室に設けることで、安全かつ速やかに機能する。3日間、給水や電源の喪失に耐えられる設備、食料等も備蓄し、要員が揃い次第、迅速に対応ができる。

Q ラディアンのリニューアル。現在の課題は。

A 空調設備の不具合、エレベーターの機材交換、法改正による特定天井対策と図書館が平成14年にピークに来館者が40%に落ちている。

Q 事業の地方債返済が年間9,000万円。基金の積立とほぼ同額のため、返済可能ということか。

A 3施設の返済が重なった年度は利率が1.5%で約

1.2億円。庁舎の基金から公債費に回るのが9,000万円。基金の積立額や繰越金部分の事業精査もし、対応可能。

Q 扶助費の増加を見込んだ財政見通しか。

A 人口はピークを迎え、高齢者は横ばいとなり減少してくる。子どもの数も減るが、過去の支出増減と人口推移を見て、見込んでいる。

Q 町長に聞く。この事業を行うことで町民サービスは低下しないか。

A 時代や社会の変化に対応し、サービスのリニューアルは行う。必要なサービスを削減するようなことはない。



(仮称) 福祉会館建設予定地。
建設は5年以上先送り



無所属
古谷 健司

問

優秀な二宮町職員の確保を図るために、職員採用試験方法の見直しを！

答

採用試験は、従来の方式に捉われることなく、工夫をしながら進めていく

Q 受験者数を増やし、いい人材を確保するために自宅でできる試験を導入して、1次試験の筆記試験と2次試験のウェブ面接を自宅で行い、3次試験で初めて二宮町で筆記、面接を行う。受験者は受験しやすくなり、900名の受験者数が1,800名に倍増した市もある。受験者数が多くなればいい人材が来ることになるので検討しては。

A 1次は教養・適性試験、2次3次は面接を、二宮町内で行っている。工夫をしながら進めていく。

Q 職員平均給料額、新採用職員初任給等は。

A 令和5年度の職員給料は、県内14町村中10位、新採初任給6位、時間外勤務は月17時間、有給休暇取得は10.3日、メンター制度導入、職員提案制度、人事異動意向調査等を行っている。

Q この職員情報を職員募集要項に載せては。

A 掲載の仕方も含め、今後検討していきたい。

Q 職員1人の、1日当たりの給与額はいくらか。

A 2万5,464円。よって、住民票の交付単価は、役場窓口で交付すると職員人件費が入り、1件当たり1,150円かかる。一方、コンビニでは、コンビニ手数料が入るが、1件当たり417円ですむ。

【要望】コンビニでの住民票は窓口で職員が交付する住民票の1/3の金額で交付できる。職員の手が入ると、日額2万5,000円、時給3,000円が足されることを頭に入れて行動してほしい。



受験者を増やして、優秀な二宮町職員の確保を！



無所属
野地 洋正

問

ラディアン大規模改修16億8千万円は本当に必要か

答

老朽化により健全度は37点。建築基準法不適合多々＋利用者サービス向上を

Q ラディアン周辺に行政機能を集約した場合、交通量への影響をどのように捉えているか。

A シミュレーションでは7%アップ、限界値に対しては25%の余裕があり影響は軽微と見込む。

Q 災害対策本部設置、下水道未接続ほか、現役場庁舎における課題は何か。

A トイレ配管・臭気、エアコン・自動ドアの故障など高額な修繕費が必要となっている。

Q 56億3千万円がすべて町外へ流出する恐れがある。町内の経済循環をどのように考えるか。

A 埋蔵文化財調査協力、外構工事で2.7億円超を見込み、建設工事入札時に下請けを依頼。

Q ラディアン大規模改修費16.8億円の内訳は。

A 設計・監理1.3、屋根・外壁・空調9.7、特定天井

対策2.6、エレベーター・防火シャッター0.8の14.4億円は建物整備。リニューアルに2.4億円。

Q 図書館開館日、時間延長を求める要望に対し、サービス向上は図られるのか。

A 2.4億円は、一番要望の多い自習室利用に対する改善も含んでおり、図書館と切り離し、ラディアン開館中は自由に利用できるようにする。

【要望】①引き続き町民への説明を尽くすこと。

②町内にもお金が落ちるよう契約方法を熟考すること。

③「最少の経費で最大の効果」を目指すべく一層の努力をすること。



自由に利用できるコワーキングスペースを新たに設置

一般質問



日本共産党
渡辺 訓任

問 ①紙の健康保険証を続けて使いたい
②ラディアン周辺整備は原点に返って

答 ①12月2日過ぎても使える
②業務継続計画を必要に応じ見直す

Q 12月2日から、今の健康保険証が使えなくなると心配の声が届く。そもそも任意のマイナンバーカードと全員加入の健康保険のひも付けが問題。紙の健康保険証は使えなくなるのか？

A 現在の国保保険証の有効期限は原則、来年7月末まで使える。その後は、マイナ保険証ではない方が町が「資格確認書」を発行。手続不要。

Q 保険税を滞納した場合の資格証・短期証の扱いはどうなるのか？

A 特別な事情の申し出なく1年以上保険税を滞納した場合「特別療養費」の扱いになり、一旦窓口で全額を支払うことになる。

ラディアン周辺整備は原点に返って

Q 発災時の庁舎機能の代替として（仮称）福祉会

館の工事は早めるべきではないか。

A 仮設事務所の設置も含め、工期の段階に対応し、業務を継続する方法を検討中である。

Q 環境性能の優先度は高い。創エネや外構の植物の利用など、施策の徹底を求める。

A 気候非常事態宣言はたいへん重いが、創エネは費用対効果で難しい。CO₂吸収は周辺外構を含めて、植物の有効利用も考える。

Q 管理運営費用は、どのくらい抑えるのか。

A 年間1,200万円程度の削減を見込む。ライフサイクルコストは、これから詰めていく。



紙の健康保険証の継続使用を望む声は多い



公明党
小林 幸子

問 いじめ防止のために、二宮町もピンクシャツデーに参加されてはどうか

答 まず、ポスター等を掲示し、児童生徒にこの運動について周知をしていく

Q いじめがあるのではないかとわかった時は、学校として具体的にどのような対応をしているのか。

A いじめ対策の検討会議や生徒指導担当者会議等を開き、情報共有をしながら、担任のみならず、スクールカウンセラー等を含め、チームで対応を行っている。

Q SNSに関してのいじめについては、どのような注意をしているのか。

A 外部講師を招き、携帯電話教室などを実施。SNSを使う際のマナーやモラルについて取り扱い、常に相手の立場に立って考えるという形で指導を行っている。

Q いじめ防止のためのピンクシャツデーという運動が行われているのは、ご存じか。

A ピンクシャツデーについては、ポスターが事務局から送られてきているので、承知している。

Q 体育館の中の暑さ対策は？また、体育の授業数は足りているのか。

A 暑さ指数（WBGT）が31を超える場合には体育の授業は中止。振り替えて授業を実施しているので、時間数が満たない事はない。大型扇風機やスポットクーラーを活用している。

Q 子どもたちのために、大型冷風機を。

A 教育委員会の現状部分も含め、しっかり聞きとって対応したい。



ピンクTシャツや小物類



無所属
大沼 英樹

問

- ①S29年の都市計画法53条改定は
②町の未来は本当に安全か

答

- ①国、県が協議に乗ってくれる状態
②庁舎の危険性と浸水は違う部分がある

1 問目 Q 現法と土地利用の課題はいかがか。

A 長期優良住宅の認定を含め土地利用制限が長期間かかっていることは課題だと考えている。

Q 次期マスタープランの改定はいかがか。

A 必要に応じ柔軟な対応を図っていきたい。

Q 都市計画法53条改定の見通しはいかがか。

A 居住者や所有者と話し合いを進めたい。

Q 都市計画と移住促進の整合性はいかがか。

A 整合ではなく、都市計画の中で考えていくべき。

【要望】都市計画は包括的に影響があるので、町で育った子どもが帰りたくなる都市計画を。

2 問目 Q 6月議会で財政規模を伏せた理由は何か。

A 内容を示す時期は、スケジュールどおり。

Q 町長室を広報に記載しなかったのはなぜか。

A 説明に必要な部分だけを記載した。

Q 他の関連計画との整合性はいかがか。

A 町の各種施策は、総合計画に位置付けている。

Q 安全で安心な財政計画はどのようなか。

A 優先順位を整理し安全安心な運営を行う。

Q 水害は命の危険を知らせる警戒レベル5。現計画は評価に値しない無謀な計画だと断言する。施設が水没したら責任は誰が取るのか。

A 葛川対策を求める。

【要望】町長は白紙撤回後、より良い提案を行うべき。未来を担う人が良かったと思える100年先を見据えた行政を。



STOP!!は、みなさんの意見次第でまだ間に合います。



無所属
松崎 健

問

- ①財政力が脆弱では学校統廃合は出来ない
②町広報が届かない町民がいる

答

- ①その前提で協議していく
②お手元に届くよう手配する

Q 一色小全学年単級化の問題を背景に、「統廃合は財政力が脆弱では実施できない」とする論文に対し町長からこれを軽んずる発言があった。掲載誌は権威ある学会年報と考えるが。

A 発言は指摘の通りだが、そういうつもりではない。財政の裏付けが必要とし協議していく。

Q 全世界における建設部門排出CO₂は全体の37%、建設時の排出量はその30%を占める（残り70%は建物利用時に排出）。この削減が重要とされている中、町は気候非常事態宣言を発出「CO₂排出削減を進める」としている。にも拘らず、空き校舎の庁舎利用に関する試算すらせず、新庁舎建設を推進するのは矛盾していないか。

A 廃校となる学校がない中で、何故一足飛びに校

舎利用に行くのか分からない。松崎議員の議論だ。

Q (2件目)「誰ひとり取り残さない」を標榜する一方、町広報が届かず読めない町民がいる。

A 役場にご一報下さい。届くよう手配する。

Q (被害者数少数の事案を巡る)一般質問で「その質問には答えかねる」との職員の無責任な答弁を町長は容認、町長自身も機微に関わる、として放置。少数派の切り捨てか。

A 後日、直接応じる。

【要望】一色小・山西小統合により生じた空き校舎の庁舎利用検討を。浮いた財源で福祉目的のインフラ整備を。



「広報にのみや」が届いていない人はご一報ください

委員会活動報告

総務建設経済常任委員会

総務建設経済常任委員会継続調査

①新庁舎整備に求められる機能について

町提案の基本設計の妥当性を検討した。特に、3階の議会エリアについて、傍聴のしやすさ、多目的利用、防災対応などについて意見交換し、改善を求めた。

心配されるラディアン前の交差点と法務局前のT字路の渋滞は、新庁舎整備の影響はないとの調査結果を確認した。

②地域公共交通のあり方について

移動性支援の必要性がさらに増す一方で、路線バスの縮小などが想定される。交通不便地域に新たなワゴン型車両を導入するなどの提言書を議会で可決、町に提出した。

今後、インターネット配信・IT活用に必要な設備の確認、移動支援の一つであるグリーンスローモビリティを視察・調査する。



教育福祉常任委員会

「子どもの権利について」

・7月11日～12日 先進的教育校へ視察研修
長野県グリーンヒルズ小中学校（国際バカロレア認定校）、山梨県南アルプス子どもの村小中学校（プロジェクト探求型授業）を視察。2校に共通することは、子どもたちが選び創る創造的なカリキュラムで子どもたちが学びのオーナーであること、また成績は子どもたちが自身が評価し、教諭・学校が助言するレポートとして作成され、個別最適に子どもたちの尊厳、権利が尊重されていた。



・9月30日 町へ二回目の提言書提出

早期の条例制定・子どもたちが権利の主体であることを知り、自分にとって最も良いことを選択できるしくみ・子どもが参画する「こども会議」・教諭が懐深く支えられる環境整備・不登校児童生徒の尊厳ある社会参加と学びの保障のための広域の不登校特例校の設置研究などを求めた。



シェアにのみや 議会報告会&意見交換会

10月30日（水） ラディアンミーティングルーム2	午前10時
11月8日（金） 山西防災コミュニティセンター	11時45分

- ・9月定例会報告 令和5年度決算を中心に
- ・意見交換会（3グループに分かれる）
- ①防災 ②行政機能集約事業 ③子どもの権利

政治倫理推進特別委員会

「ハラスメント根絶条例」は意見募集終了

「ハラスメント根絶条例」について、意見募集を9月30日で終了。今後、寄せられた意見を検討し、他条例との整合性などを反映したうえで、条例（案）をまとめる。12月定例会への提出を見込む。

議会だより編集委員会

編集 後記

改選後の任期前半2年間を務めさせて頂いた編集委員は今号を以て役割を終え、次号からは新メンバーによる編集になります。この間重視したことは、各議員が作成した一般質問・総括質疑の原稿には原則手は加えずに掲載することで、各議員の表現の自由を最大限に尊重するとともに、ありのままの姿をお伝えすることでした。この姿勢こそが、「議会だより」の使命と考え2年間編集委員長を務めさせて頂きましたが、どこまで町民の皆さんに伝わったでしょうか？ご愛読いただけましたこと感謝申し上げます。（松崎）

議会だより編集委員

委員長	松崎 健
副委員長	浜井 直彦
委員	小林 幸子
	前田憲一郎
	善波 宣雄
	野地 洋正



議会へのメール